

GPN News

グリーン購入ネットワークニュース

第81号 2011年6月号


 巻頭特集

東日本大震災—今、GPN ができること



東日本大震災により被災された多くの方々に対し、心からお見舞いを申し上げますと同時に、被災地の一日も早い復旧・復興を心より祈念いたします。

5月6日、被災地である宮城県および仙台市を訪問し、お見舞いを申し上げ、被災状況や復旧に向けた取り組みについてご説明いただきました。その後、みやぎGPN事務局長の山岡講子さんとともに被災地を訪れました。

被災地で目にした光景はまさに壊滅的なものであり、被災された多くの方々の日々の生活を早期に取り戻すことの難しさを肌で感じました。それ故、これらの地域の復旧、

復興に向け、まず現場の状況を把握し人々の今の生活や思いを共有すること、その上で行政・企業・全ての国民が一致団結し総力を挙げて取り組むこと、加えて、それぞれが自らできることを考え、具体的な行動を起こすことが何より重要だと実感しました。

また今回の大震災では、発電所の稼働停止や原発事故の発生、多くの企業が被災されたことなどを受け、被災地のみならず首都圏や他の地域でも電力供給量の不足、日用雑貨品等の買いだめ、放射線

index

巻頭特集 東日本大震災—今、GPN ができること	1-3	2011 年度事業計画 (概要)	12
節電特集 エコで夏の電力不足を乗り切ろう!	4-5	2011 年度収支予算書 (要約)	13
G なとりくみ	6-7	TOPIX	14
「グリーン電力証書」購入ガイドライン制定	8-9	新規入会会員紹介	14
GPN の活動より	10-11	地域ネットワークだより	15
GPN の活動報告	11	ひとこと地域ネットワークだより	16
第 13 回グリーン購入大賞募集	11	編集後記	16

による食品等の風評被害など、様々な影響や問題が発生しました。

今、日本では、大震災を契機に被災地への支援はもとより、社会インフラや事業運営、ワークスタイル、ライフスタイル等の見直しが始まるうとしています。GPNとして

被災地の支援に向け継続的に取り組んでいくとともに、今だからこそ、持続可能な社会を実現するための有効な手段の一つとして「グリーン購入」のさらなる普及を図る必要があると考えています。

(グリーン購入ネットワーク専務理事・事務局長 麴谷和也)

震災からの復旧、復興に向けた支援活動

東日本大震災による被害・影響の大きさを踏まえ、GPNでは被災地の会員団体や地域ネットワークの支援に向けた取り組みを進めています。震災からの復旧、復興には長い時間がかかると見られ、復旧、復興に向け、GPNらしい継続的な取り組みを行っていくことが、第82回理事会で承認されました。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

東日本大震災・GPN 応援プロジェクトを発足

東日本大震災発生後、GPNでは会長による緊急メッセージを発信し、冷静な行動と今後の取り組みへの協力を求めました。そして、震災による会員団体への影響の大きさを認識しGPNとして継続的な支援活動を進めていくために、理事・事務局により構成される東日本大震災・GPN 応援

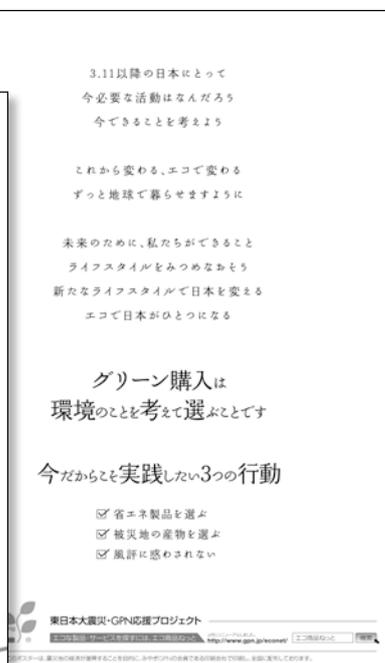
プロジェクトを立ち上げることが、決定されました。これまでに2回の会合を持ち、GPNの活動趣旨を踏まえ、被災された団体等の支援に向けた具体的な活動を検討、実施しています。

チャリティポスターの制作・販売

被災地域の会員や地域ネットワークの支援を目的に、節電とグリーン購入の取り組みの推進を図るチャリティポスターを作成し、販売することとなりました(A2サイズ2枚セット:1,050円)。

ポスターの印刷は被災地の会員にお願いし、収益金は全額被災地域の会員・地域ネットワークへの支援金として寄付させていただきます。6,000セットの販売を目標としており、皆さまのご協力をお願いいたします。

※お申込み方法、お支払方法など詳細につきましては、本誌同封のチラシ、GPNのウェブサイト(<http://www.gpn.jp/event/campaign/project/poster.html>)をご覧ください。



チャリティ報告会「現地からの報告—被災地の今を知る—」実施

5月31日にGPN馬喰町オフィス会議室にて、東日本大震災に関するチャリティ報告会を開催しました。みやぎGPN事務局長 山岡講子氏、仙台市環境局 小林陽一氏を招き、被災地の現状や今私たちに求められていることについて

でご講演いただいた後、パネルディスカッションを行いました。報告会の収益金は、被災地域の会員、みやぎGPNへの支援金として寄付させていただきました。

※報告会の内容については今号別冊版をご覧ください。

みやぎ GPN への義援金進呈

多くの会員団体が震災により大きな被害を受けたみやぎ GPN では、活動の継続が懸念されていましたが、「こういう時だからこそグリーン購入の活動を続けていく必要がある」と引き続き活動を進めていく強い意志が示され、これを踏まえ、みやぎ GPN に対する活動支援金として 50 万円をお渡ししました。



義援金の進呈 左：みやぎ GPN 山岡事務局長
右：GPN 麴谷事務局長

震災の影響が大きい地域の今年度の会費徴収等の免除

宮城、岩手、福島、青森、茨城の各県においては、震災により大きな被害を受けられた会員が多く、また、直接的な被害を受けていない会員においても、事業活動に少なからぬ影響が生じていることなどを考慮し、今年度の会費の

徴収を免除することとしました。

また、GPN News を送付する際に各種情報のチラシを同封するサービスに関し、上記各県の会員について無料で受け付けることとし、負担の軽減を図っています。

グリーン購入を通じた震災への対応

東日本大震災の発生を契機に、エネルギー利用や物品購入のあり方の見直しが求められており、こうした動きは GPN の活動の方向性と共通する面を多く有しています。GPN では、これまでの活動に加え、震災の復旧・復興にも寄与する GPN らしい取り組みを推進してまいります。皆さまの積極的なご参加、ご協力をお願いいたします。

「節電 今だからこそみんなで OFF」の実施

東日本大震災による発電所の稼働停止、さらには東京電力福島第一原子力発電所における事故により、東北・関東地域のみならず各地域で電力供給量の不足が懸念されています。こうした状況を踏まえ、節電を促す一斉行動「節電 今だからこそみんなで OFF」を実施しています。電力需給のバランスという視点だけでなく、地球温暖化防止の観点

からも、積極的な節電の実践が求められています。

実施期間：3月17日～
参加団体数：29 団体
人数：188,379 人
(5月31日現在)



「500 万人一斉行動」の実施



GPN では今年も、環境月間である 6 月に「GPN500 万人グリーン購入一斉行動」を実施しています。今回の一斉行動は、「買うからはじめるエコ～省エネライフを考えて選ぼう～」をテーマとしており、節電対策が重要な行動の一つとなっています。多

くの会員の皆さまにご参加いただきますようお願いいたします。

- 具体的行動：①夏に備えて節電対策！
②地場の食品や日用品を選ぼう
③使おうマイバッグ！

参加方法：500 万人一斉行動のサイトの申し込みフォームから参加登録をお願いします。

500 万人一斉行動ウェブサイト URL ▼
http://www.gpn.jp/event/campaign/campaign_09/index.html

「節電特集 エコで夏の電力不足を乗り切ろう！」を展開

電力供給量の不足が見込まれる夏季に向け、節電につながる製品・サービスの利用やライフスタイルの見直しが、従来以上に重要な課題となっています。こうしたことから GPN では、「節電特集 エコで夏の電力不足を乗り切ろう！」

の取り組みを展開し、節電特集ページや環境配慮商品情報データベース「エコ商品ねっと」を通じて、省エネ製品や節電につながる使い方などを紹介しています。詳しくは本誌 4～5 ページをご覧ください。